

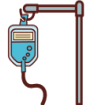

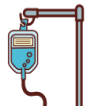
アービタックスの治療をお受けになる方へ



腫瘍は、正常細胞に比べて分裂増殖が盛んです。
 アービタックスは、分裂増殖が盛んな細胞に作用します。
 正常細胞でも分裂増殖が盛んな細胞は、薬の影響を受けやすく
 副作用として現れてきます。
 以下に、アービタックスによる治療の副作用を
 ご説明しますがこれらの副作用がすべての方に必ず起こるわけでは
 ありません。

| 薬の名前 | 1日目 | 6日間休み |
|--|---|-----------|
| アービタックス; 初回2時間、2回目1時間 (成分名:セツキシマブ) |  | 休み |

症状や経過に合わせてお休み期間は変わります。

| | 点滴時間 | 薬の名前 | 薬の働き |
|---|------------------|------------------------------------|--------------------------------|
|  | 15分 | 生理食塩水50ml デキサート、ポララミン ファモチジン | デキサート・ファモチジン、ポララミンアレルギー反応を抑える。 |
|  | 120分 ↓ 60分 | 生理食塩水250ml アービタックス | アービタックス;腫瘍の細胞分裂を抑える。 |
|  | | 生理食塩水50ml | 生理食塩水; 点滴チューブの洗浄および状態の確認 |

◎起こりやすい副作用について アービタックス注による副作用

●にきび様皮疹

症状の程度に差がありますが、ほとんどの方に認められる症状です。治療を開始してから数日～1週間頃になると、顔や上半身を中心に、にきびのような皮疹ができることがあります。また、投与後1～8週間頃が最も強い症状が出やすいといわれています。かゆみや痛みを伴う症状が続いている場合は、症状にあわせてぬり薬、飲み薬を使います。

●皮膚乾燥

投与3～5週間以降に、皮膚が乾燥することがあります。保湿クリームなどを使います。また、6週間以降になると、赤切れのような皮膚にヒビが生じることがあります。

●爪周囲炎

投与後4～8週間以降に、手足の爪全体に炎症が起こります。痛み、爪の発育障害を伴い、ひどい時は爪が巻き込んで、肉芽ができたり化膿することがあります。

●マグネシウム低下

脱力感や筋肉のけいれん、ふるえ、胸の不快感が生じたときは病院に相談しましょう。

●インフュージョンリアクション

発熱、悪寒、吐き気、頭痛、疼痛、痒み、発疹、咳、血圧上昇、気分不快が起こる場合があります。

ほとんどの場合は点滴をしている時間帯におこりますので点滴中に気分不快等あれば看護師に相談しましょう。特に初回の点滴時に頻度が多く、発生した場合には点滴速度を遅



気になる症状があらわれた際には必ず医師、薬剤師または看護師にご相談ください。